

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.19(2024. 11 月)

社会科同好会編⑩ 中島飛行機武蔵製作所と空襲を探るフィールドワーク

11月3日(日)、社会科教員1名+理科教員1名、生徒3名で、「中島飛行機武蔵製作所と空襲を探るフィールドワーク」に参加しました。80年前の1944年(昭和19年)11月24日、マリアナ諸島サイパン島から飛来したアメリカの爆撃機B-29は、中島飛行機製作所を目的に空襲を実施しました。翌年8月まで続く本格的な本土空襲の始まりです。柳沢公民館エントランス(西武柳沢駅の南口側)を出発し、中島飛行機製作所の跡地である都立武蔵野中央公園までの約2.5kmを大人の参加者とともに歩きながら、空襲の痕跡をたどりました。ガイドしてくださった、牛田守彦先生(私立法政中高)、ありがとうございました。

【主な見学ポイント(配付資料より)】

- ①柳沢公民館エントランス:不発弾の爆弾ケース
- ②しじゅうから第二公園:原爆模擬爆弾被爆地点
- ③東伏見稲荷神社:中島飛行機武蔵製作所殉職者慰霊碑
- ④佐久間一郎邸跡地:武蔵野製作所初代所長
- ⑤被爆し割れたお地蔵さん
- ⑥下野谷住宅跡地:大防空壕所在地、縄文遺跡あり
- ⑦NTT研究所・北門:製作所の北門
- ⑧関前橋:引込線の軌道
- ⑨八幡町4丁目:附属病院の跡地
- ⑩都立武蔵野中央公園:製作所・西工場(戦後は米軍住宅)跡地。大型説明板あり
- ⑪延命寺:平和観音像・戦争遺物あり ※オプション



中島飛行機株式会社は代表機の一式戦闘機「隼(はやぶさ)」などのほか、三菱重工株式会社が開発した「零戦」のエンジンをすべて製造し、機体の3分の2も製造していた。工場は合計9回の空襲を受け、工場内だけで200名以上、周辺では数百名の市民が亡くなった。学徒勤労動員(約40校)の生徒も犠牲者となった。

都立武蔵野中央公園の説明板のある場所が、工場の中心＝「爆撃照準点」⇒

以下、生徒の感想の一部を紹介します。

◆私の家の近くにも空襲を受けた変電所があり、今回のフィールドワークでは、中島飛行機武蔵変電所との相違点を考えながら進みました。フィールドワークで向かった、いたって普通そうな公園にも戦争の跡があり、戦争がこんなにも身近なものだったのだと思いました。昔の地図と見比べながらフィールドワークを行うのも面白かったです。

◆今回のフィールドワークで、自分の住んでいるところからそこまで遠くないところに空襲の被害や防空壕があったことを知り驚きました。

